



やまつぼき

学 校 だ よ り NO6
令和7年9月1日
佐倉市立下志津小学校
児童数 238名

前期後半、目標を見据える ～実現したい自分をイメージして～

校長 三星 典子

外に出て遊ぶことが難しい夏一ひと昔から比べると、こんなにも様変わりした日本の夏…。それでもたんぽぽ教室前の畑は、夏野菜の苗にみずみずしい実がなり、季節を感じさせる空間となっています。

夏休みの終わりにあたり、大きな事故等の御連絡なく、本日を迎えられましたことに安堵しております。校舎に久しぶりに響く、明るく元気な声。そして元気な子どもたちの笑顔が学校中にあふれていました。学校という場所は、子どもたちがいてこそ、輝く場所なのだと痛感します。



さて四十余日の“特別な時間”、下志津の子どもたちが“頑張れた”ことを御家庭でお話しいただけたでしょうか。元気で夏休みを過ごせたことも、価値あることかと思えます。これからの生活につながる、「夏休みの振り返り」をぜひ子どもとお話くださるようお願いいたします。私たち教職員も、一回り大きく成長した子どもたちとともに、また今日から学びを積み重ねていきたいと思えます。

今日の全校集会で、私は子どもたちにこんな話をしました。

「夏休みが終わりました。校長先生からの宿題を覚えていますか。「夏休み、頑張ることを一つ決める」でしたね。どんなことに頑張れましたか？（お家の人とお話しましたか？）頑張れたことを‘自分の言葉’で表現してほしいです。それは、“自分で自分を見る”ということ、“どんな自分か”を自分がわかっている、ということにつながるからです。今の自分がわかると、これから先のなりたい自分になるためにはどんなことに頑張ればいいのか、考えやすくなります。9月、これからの生活の目標をたてていく時に、つなげてみてください。そして全員でこれからの学校生活、“頑張って”いきましょう。」

学校生活のリズムを思い出し、充実した学びの秋に向けて取り組んでいきたいと思えます。



— 今後も、例年に比して暑い日々が続き、台風の到来やゲリラ豪雨等、不安定な気象状況が予想されます。子どもたちの安全を確実に担保して、教育活動を進めて参ります。ただ状況に応じて、その日の登下校等、変更の御連絡をしなければならないことがあるかもしれません。マチコミメールの配信による御連絡となりますので、御理解、御協力のほどよろしくお願いいたします。また保護者の皆様には、お子様に十分な水分（水筒）の準備、健康観察等、お子様の体調の把握を継続いただきたいと思います。体調不良の際には無理をしない、させないことを念頭に、子ども自身にも、成長の段階に応じて、自己管理の力をつけていきたいと思えますので、「気づき」につながるお声かけをよろしくお願いいたします。



夏休み前、活動のひとコマから・・・

5 年生 水郷小見川青少年自然の家！



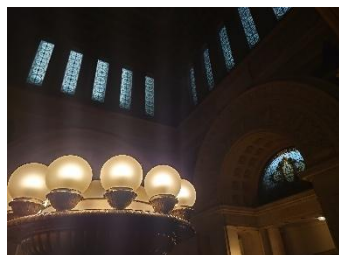
7月3日（木）～4日（金）の1泊2日で5年生が水郷小見川青少年自然の家に行きました。キャンプファイヤーやカヌーを通じて、友情を深めました。

3 年生がトウモロコシむきを行いました！



7月2日（水）、3年生がトウモロコシの皮むきを行いました。その日の給食にも提供され、子ども達にとってよい学びとなったようです。

6 年生が社会科見学に行きました！



7月11日（金）、6年生が国会議事堂と日本科学未来館に行きました。日本の政治の中心にて、国会の成り立ちを学び、日本の未来について考え、将来へ大きく羽ばたいてほしいと思います。

秋も下志津小の子どもたち、頑張ります！

9月1日は「防災の日」

9月1日は、「防災の日」です。1923年（大正12年）9月1日に起きた「関東大震災」の日に由来しています。

災害大国と呼ばれる日本。国土面積は世界の0.25%ほどしかないにもかかわらず、マグニチュード6以上の地震が発生する割合は18.5%と桁違いに自然災害の発生が多く、日頃の備えが不可欠です。

関東大震災は、関東大地震によって引き起こされた地震災害で、明治以降の日本の地震で最大規模の被害を出しました。本地震のマグニチュードは、7.9程度、震度7とされています。

犠牲の9割は、地震後に発生した首都圏の火災、そして火災旋風が原因とされています。昼食時（午前11時58分）に起きた地震であったこと、能登半島付近を通過していた台風が重なり、火災が起きやすい、広がりやすい条件が整ってしまったことが挙げられますが、災害対策をすることで二次災害を最小限にすることで、救えた命もあったことでしょう。

またその後の1959年9月に日本に上陸した伊勢湾台風の災害が「防災の日」制定の決め手となったとされています。この台風は規模が大きくなかったものの、台風として最も多くの犠牲者を出してしまいました。これに起因して「富士山レーダー」が設置され、現在は、気象衛星で台風の動向を監視しています。原因として、堤防の崩壊などが指摘されており、防災対策の見直しの機会の重要性が指摘されたといえます。そして、過去の未曾有の災害の教訓から学び、不測の事態に備えるべく、1960年9月1日に「防災の日」が制定されました。9月は台風が多い時期でもあり、9月1日に災害に備えることで、被害を軽減する狙いもあったことでしょう。

子どもたちには、昔は災害が起きた時に、災害への備えが十分でなかったため、たくさんの被害が出てしまったこと、そして、災害に対する万全な準備、備えをするために「防災の日」があることを伝えていきたいものです。学校でも災害対応の避難訓練や防災・安全教育を充実させ、実施していきます。

被災者数	190万人
死亡または行方不明者	10万5,000人
建物被害全壊	約10万9,000棟
建物被害全焼	約21万2,000棟

詐欺被害防止に関するお願い

千葉県警察から、「ニセ警察詐欺」の被害急増に関する注意喚起がありました。実際に保護者の方々や我々教職員にも被害が発生しているとのことですので、添付の広報動画をご覧ください。

～動画URL～ <https://youtu.be/0Y99YuRyZnY>



「以下保護者の皆様宛に千葉県警察からのメッセージです。」

千葉県警察生活安全総務課です。

現在、警察官をかたってお金をだまし取る「ニセ警察詐欺」の被害が急増しており、若い世代の人も多く被害にあっています。

この手口の一件当たりの平均被害額は1千万円を超えており、被害にあってしまえば、家族の将来を一変させると言っても過言ではありません。

これまでの被害では、手口を知ってさえいれば防げたケースが多くありますので、保護者の皆様に「ニセ警察詐欺」の手口についての、動画のURLを送付いたしますので、被害にあう前には是非ご覧ください。